

製品紹介

JMR-9200/7200シリーズ 船舶用レーダの避航操船支援機能 (Safety Zone Viewer) JMR-9200/7200 Series

Collision Avoidance Support Function of Marine Radar (Safety Zone Viewer)

1. 概要

Safety Zone Viewer (SZV)は、他船との衝突リスクが高い領域をレーダ画面上にグラフィック表示し、他船監視および避航操船に携わる航海士の負担を軽減する避航操船支援機能である。SZVはJMR-9200/7200船舶用レーダに新たに追加された機能で、既設のレーダ装置にも対応する（レーダ装置のソフトウェア更新が必要）。

船舶事故の多くは、見張り不十分や不適切な操船などの人的ミスに起因しており、衝突の危険性を伴う船舶を的確に把握し、適切な避航ルートを決定することは安全な航海における重要な課題である。SZVはレーダ画面に表示された他船（AIS目標*1およびTT目標*2）に対し衝突の危険性が高い領域（OZT: Obstacle Zone by Target）をグラフィック表示し、他船との衝突の危険性を直感的に示す。また、他船を避航する際は、表示されている危険な領域を避けるよう航路を決定することにより安全な航行が継続できる。これらの機能は、避航操船を行う航海士の負担を大幅に軽減する。

なお、本機能の開発は国土交通省の補助事業として実施したものである。

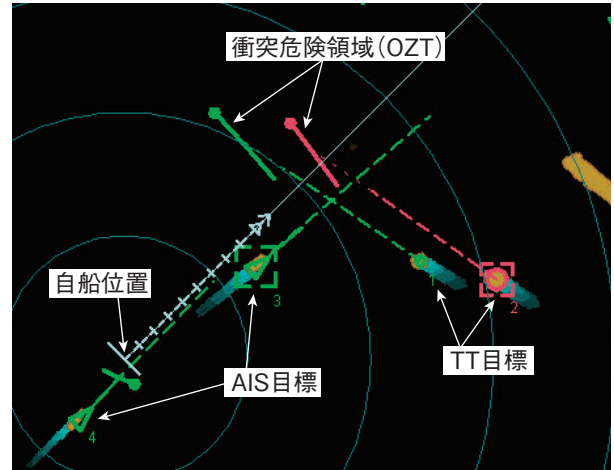
2. 特長

安全・安心な航海を支え、航海士の負担を軽減する各種支援機能

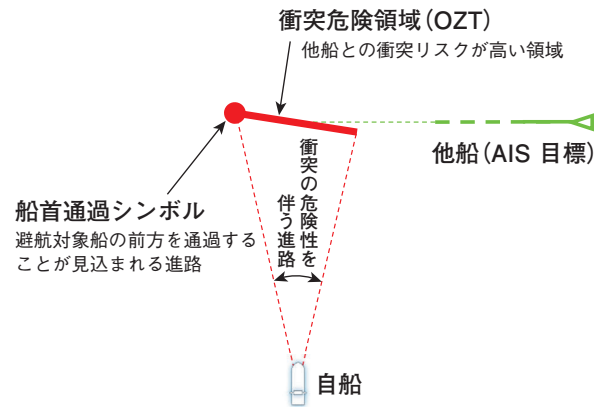
- (1) 避航すべき船舶を明確に把握することが可能
進路上にある他船との衝突の危険性を即時に把握でき、避航対象船の抽出が容易
- (2) 衝突の危険性を伴う船舶をアラームで通知
現在の進路において衝突危険領域に到達するまでの推定時間をあらかじめ設定することで、避航すべきタイミングをアラームで通知
- (3) 安全な避航経路の決定を支援
他船と衝突する危険性を伴う領域がグラフィック表示され、特に危険とされる「避航対象船の前方」を通過しない航路の判断をはじめとする安全な避航経路の把握が容易
- (4) 表示情報のカスタマイズが可能
画面上のメニュー操作により必要な情報のみを表示させることが可能

※1 AIS（船舶自動識別装置）が識別しレーダ画面に表示された目標（船舶）

※2 レーダのTT（目標追尾）機能によりレーダ画面に表示された目標（船舶）



レーダ画面の表示例



衝突危険領域の表示例

3. 仕様

項目	仕様
搭載可能なレーダ形名	JMR-9200/7200シリーズ
表示対象船舶	AIS目標*1およびTT目標*2
衝突危険領域の表示色	緑/白/水色/橙 (アラーム通知時は赤)
衝突危険領域の表示輝度	5段階
機能	衝突危険領域の表示 衝突危険領域の表示範囲設定 船首通過シンボルの表示 衝突の危険性を伴う船舶のアラーム通知

お問合せ先 マリンシステム営業部 国内営業グループ
電話：03-5534-1115